

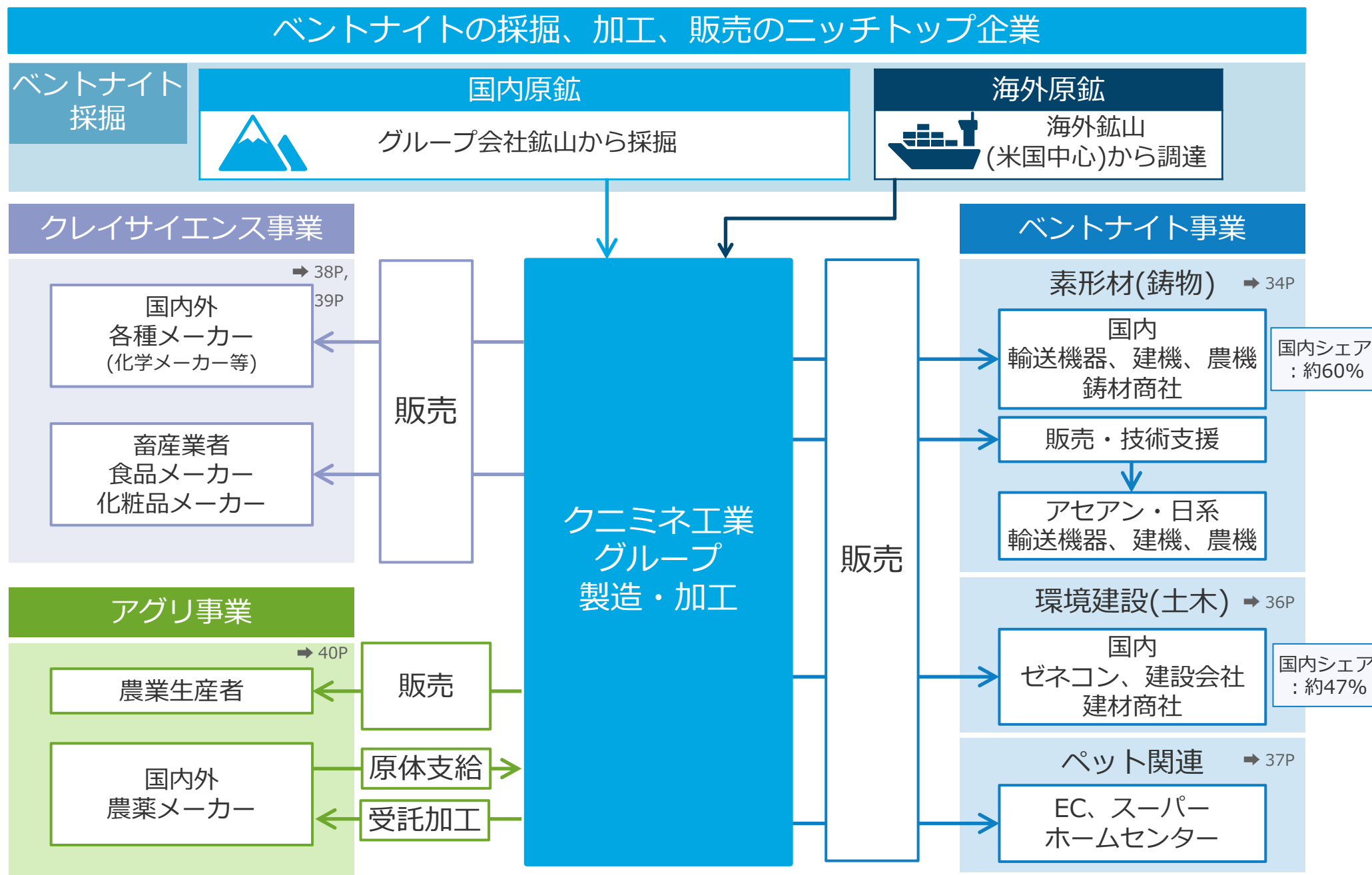
# 2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年12月9日



## 当社ビジネスモデル・事業目的及び構成

# 当社ビジネスモデル



# 当社事業目的及び構成

## ■ 当社事業目的

『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売事業のほか、ファインケミカル、ライフサイエンス、化粧品各分野で研究開発を推進するクレイサイエンス事業、農業分野に貢献するアグリ事業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けます。

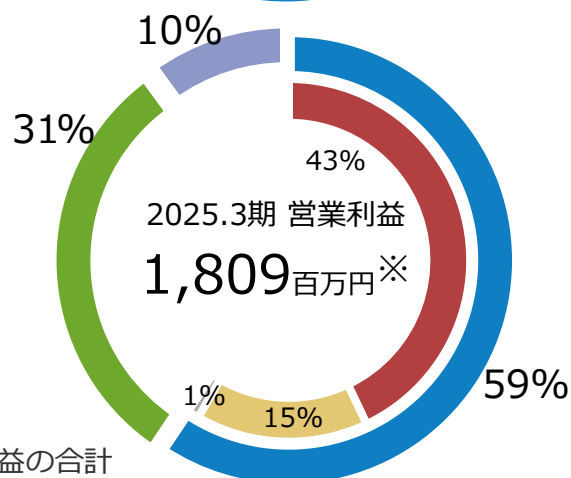
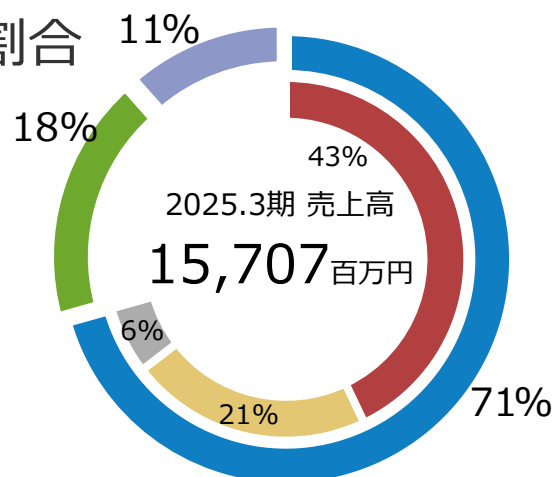
## ■ 事業別売上・営業利益構成割合

### クレイサイエンス事業

粘土素材を科学することで、貴重な地下資源から持続可能な価値を創造し、既存領域の拡大と新規事業の創出を推進

### アグリ事業

農薬粒剤の生産活動を通じて食の安定供給に貢献し、農業分野の多様なニーズに対応



### ベントナイト事業

モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性などの特性を活用して、様々な事業分野に展開

### 素形材分野

耐熱特性に応じた製品、体系化した技術を通じて、素形材産業にソリューションを提供

### 環境建設分野

土と水にイノベーションを起こし、地球環境問題に貢献

### ペット分野

ペットとの暮らしに快適さを与え、社会に癒しと笑顔を創造

※全社費用を除く事業別営業利益の合計

**1** 業績サマリー

**2** 2026年3月期 第2四半期決算概要

**3** 2026年3月期 通期見通し

**4** 中期経営計画概要(2024年3月期-2026年3月期)

# 1/4 業績サマリー

# 2026年3月期 第2四半期決算業績サマリー

売上高	営業利益	経常利益
7,712百万円 +4.7%	461百万円 ▲0.1%	581百万円 ▲0.1%

%：前期比

## グループ全体

- 増収、営業利益横ばい  
販売数量増加および価格改定効果により増収も、クレイサイエンス事業における主力製品の需要減少により、営業利益は前年同期比で横ばい

## ベントナイト事業

- 増収増益  
価格改定効果や地熱発電向け需要が好調に推移し、売上・利益ともに前年を上回った

## アグリ事業

- 増収、営業利益黒字  
除草剤をはじめとする農薬需要が好調に推移したことで、前年を上回り、上期黒字化

2/4

## 2026年3月期 第2四半期決算概要



# 2026年3月期 第2四半期決算概要

- 売上高は堅調なベントナイト事業が牽引し、適切な価格改定や販売活動の強化により、期初計画を上回る
- 営業利益は適切な価格改定を推し進めるも、高付加価値製品の在庫調整の影響により前年同期比で横ばい
- 当期純利益は、政策保有株式の売却により増加

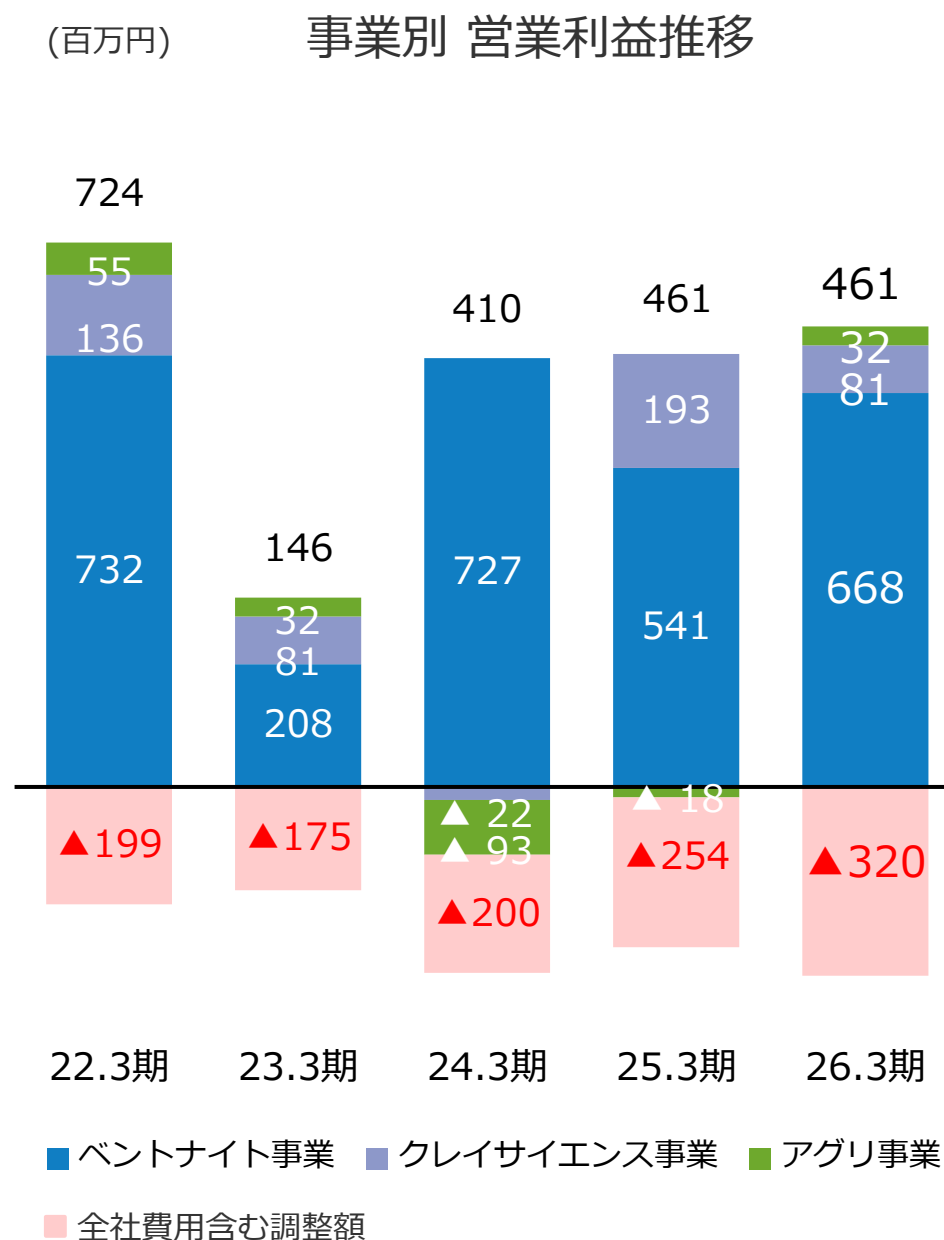
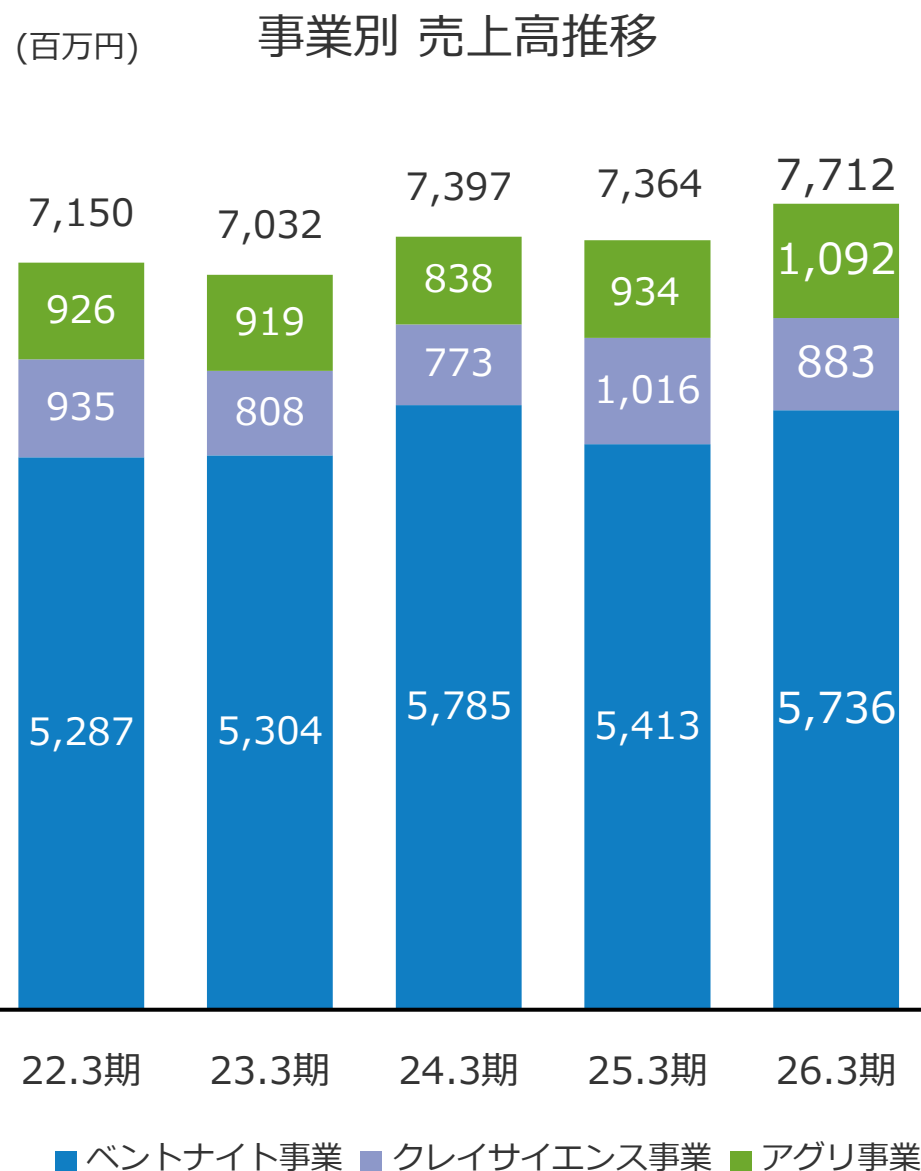
(百万円)	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期(実績)	前年同期比	2026年3月期 上期計画	計画比
売上高	7,364	7,712	+4.7%	7,611	+1.3%
営業利益	461	461	▲0.1%	538	▲14.3%
経常利益	581	581	▲0.1%	650	▲10.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	374	420	+12.3%	450	▲6.5%

# 事業別業績概要（上期）

(百万円)		25.3期	26.3期	前年 同期比
事業別 売上高	ベントナイト	5,413	5,736	+6.0%
	クレイサイエンス	1,016	883	▲13.2%
	アグリ	934	1,092	+16.9%
	合計	7,364	7,712	+4.7%
事業別 営業利益	ベントナイト	541	668	+23.5%
	クレイサイエンス	193	81	▲58.1%
	アグリ	▲18	32	-
	合計	716	781	+9.1%
全社費用含む調整額		▲254	▲320	-
営業利益		461	461	▲0.1%

概要
<b>ベントナイト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 素形材分野の価格改定効果、環境建設分野の地熱発電向け需要が好調に推移したことにより増収増益</li> </ul>
<b>クレイサイエンス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クニピアの一般工業用途としての輸出向けが在庫調整の影響により減収減益</li> </ul>
<b>アグリ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受託加工において除草剤等の需要増加や原料販売の価格改定により増収・黒字化 ※農薬需要の季節変動により下期に収益が偏重</li> </ul>

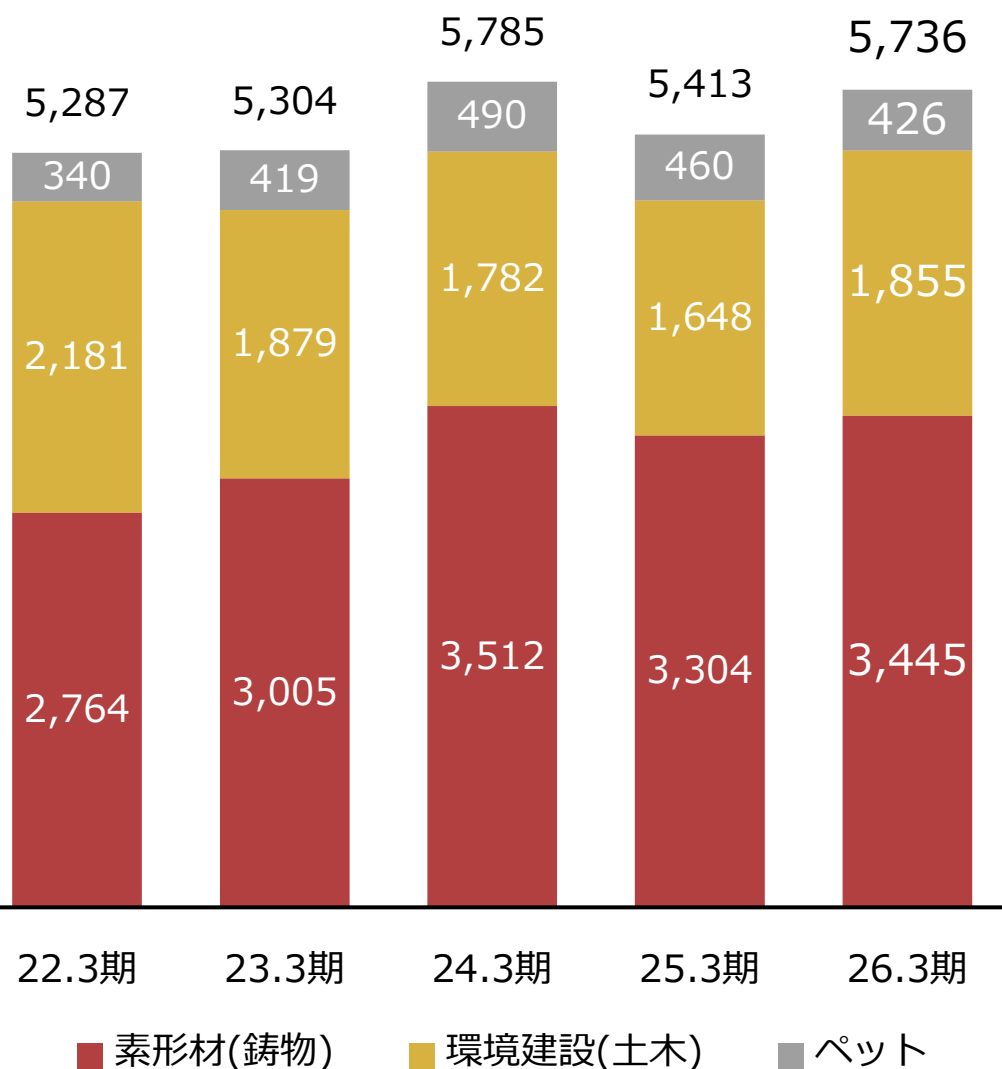
# 補. 事業別業績推移 (上期)



# 補. ベントナイト事業 業績推移 (上期)

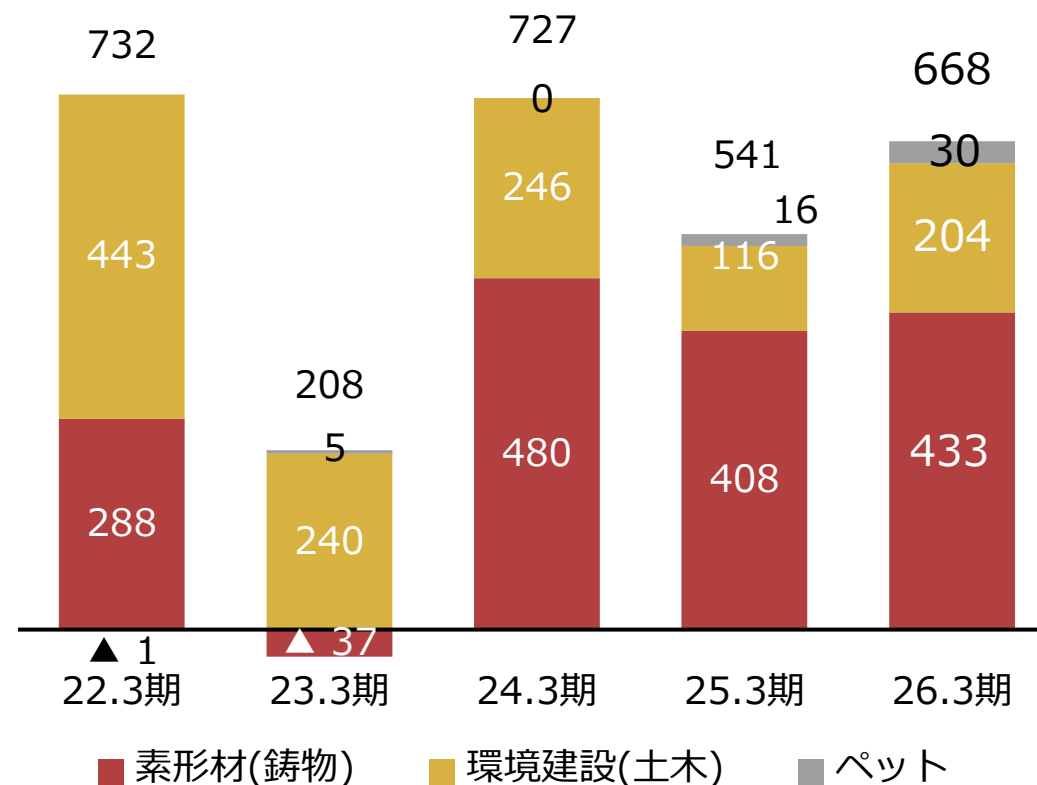
(百万円)

## 売上高推移



(百万円)

## 営業利益推移



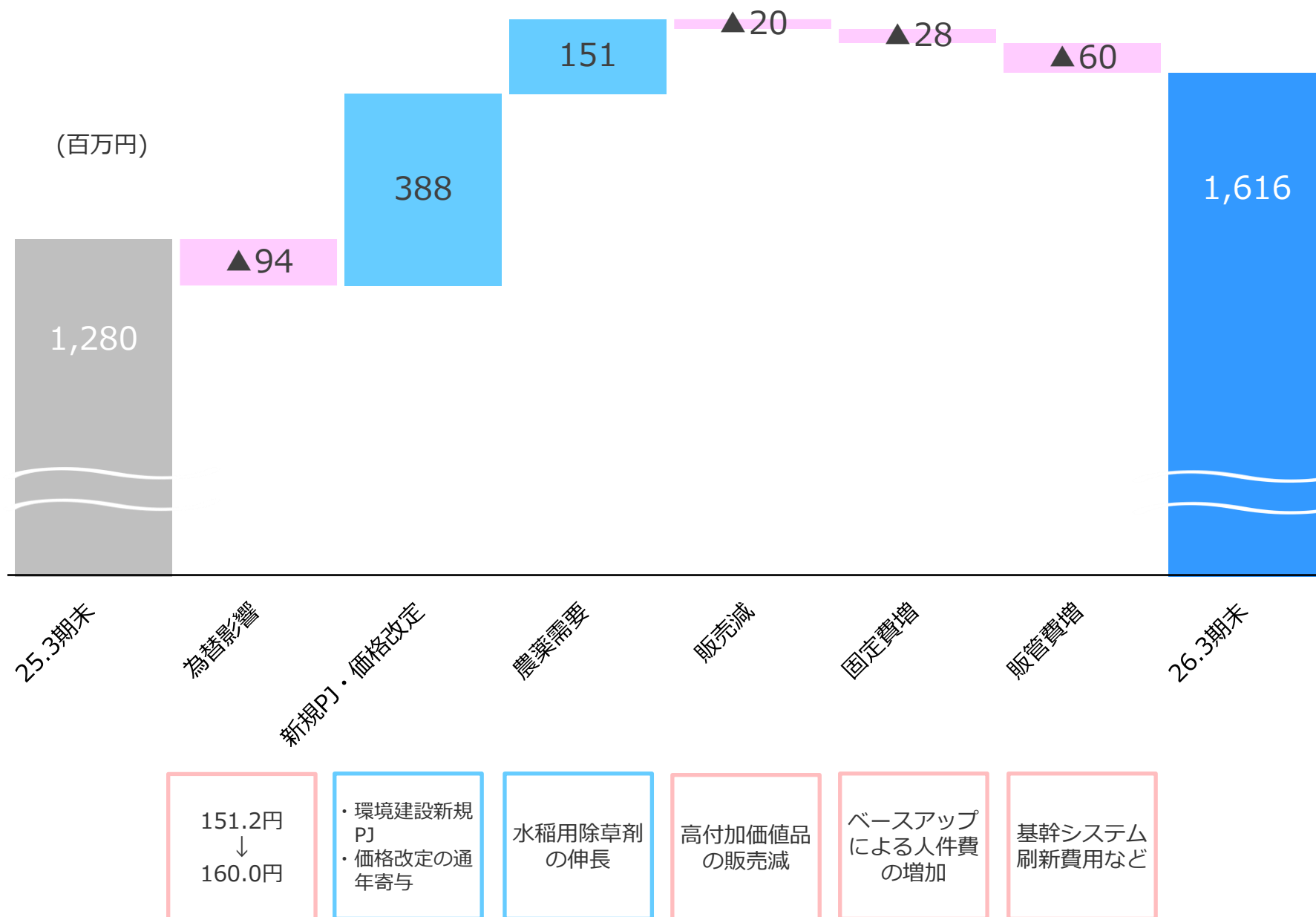
3/4

2026年3月期 通期見通し

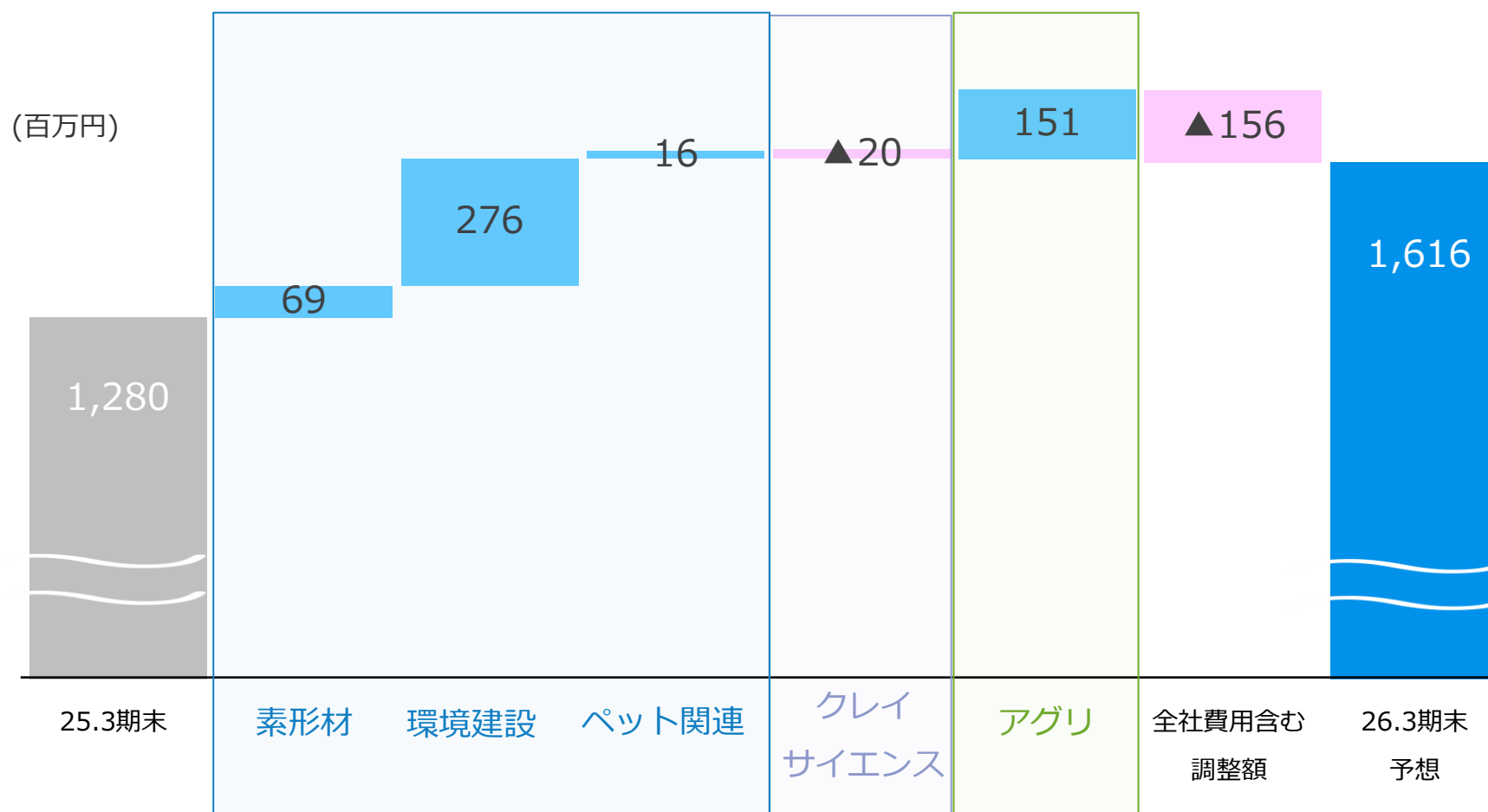
- 下期においては環境建設分野の一般土木や地熱発電向け、好調な農薬需要を取り込み、前期比増収増益を見込む

(百万円)	2025年 3月期	2026年 3月期予想	前年同期比
売上高	15,707	16,921	+ 7.7%
営業利益	1,280	1,616	+ 26.2%
経常利益	1,583	1,840	+ 16.2%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	1,078	1,274	+ 18.2%

# 25.3期→26.3期 営業利益増減要因（予想）



# セグメント別 営業利益増減要因（予想）



**ベントナイト+361百万円**

一般土木における新規PJの取り込み(環境建設)  
地熱ボーリング向け需要の復調(環境建設)

**クレイサイエンス▲20百万円**

一般工業用途向けの需要減

**アグリ+151百万円**

種子コーティング伸長・好調な農薬需要

全社費用含む調整額

新基幹システム導入に伴う関連費用の増加



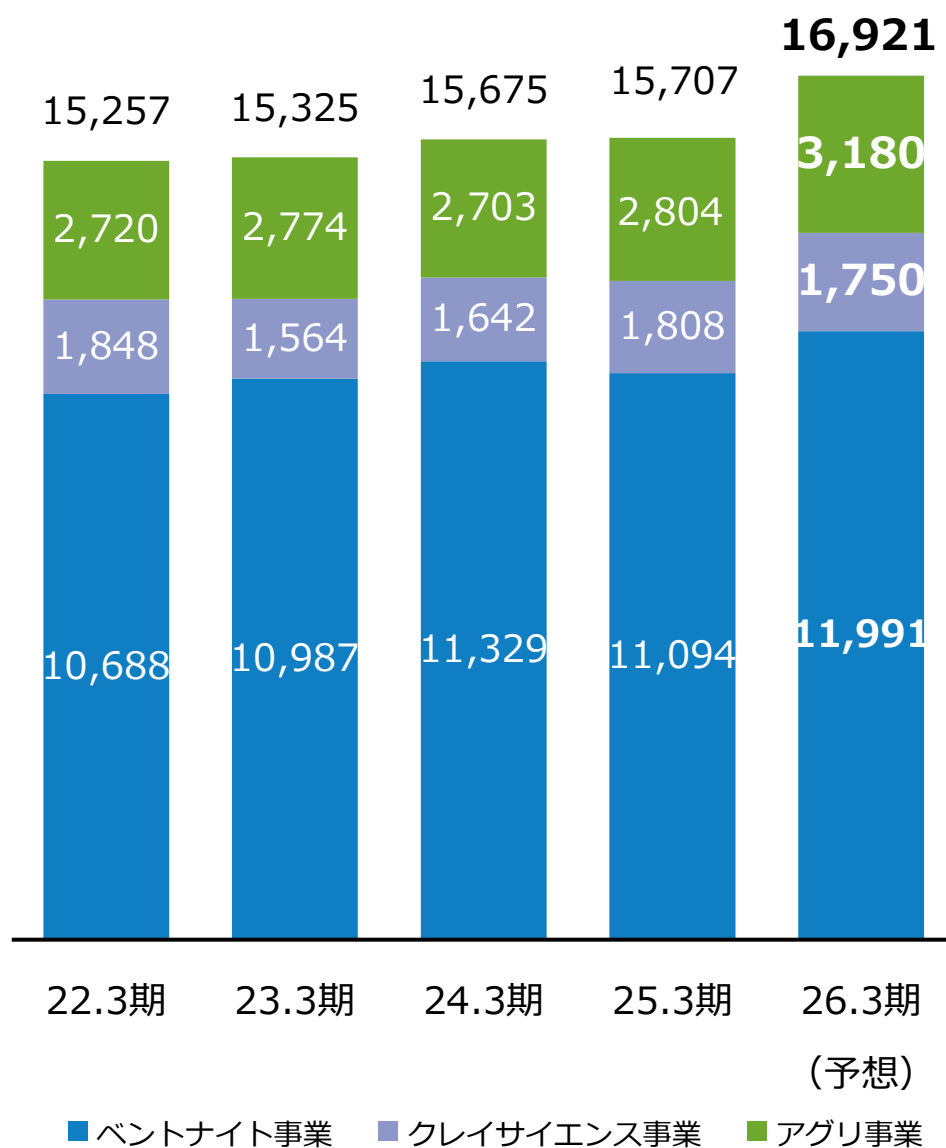
# 補. セグメント別 下期業績予想

(百万円)		25.3期 (上期)	25.3期 (下期)	合計	26.3期 (上期実績)	26.3期 (下期予想)	合計
ベントナイト計	売上高	5,413	5,681	11,094	5,736	6,255	11,991
	営業利益	541	533	1,074	668	769	1,437
クレイサイエンス	売上高	1,016	792	1,808	883	866	1,750
	営業利益	193	▲12	181	81	80	161
アグリ ※	売上高	934	1,870	2,804	1,092	2,088	3,180
	営業利益	▲18	571	553	32	672	704
全社費用含む調整額	—	▲254	▲275	▲529	▲320	▲365	▲685
グループ計	売上高	7,364	8,343	15,707	7,712	9,209	16,921
	営業利益	461	819	1,280	461	1,155	1,616

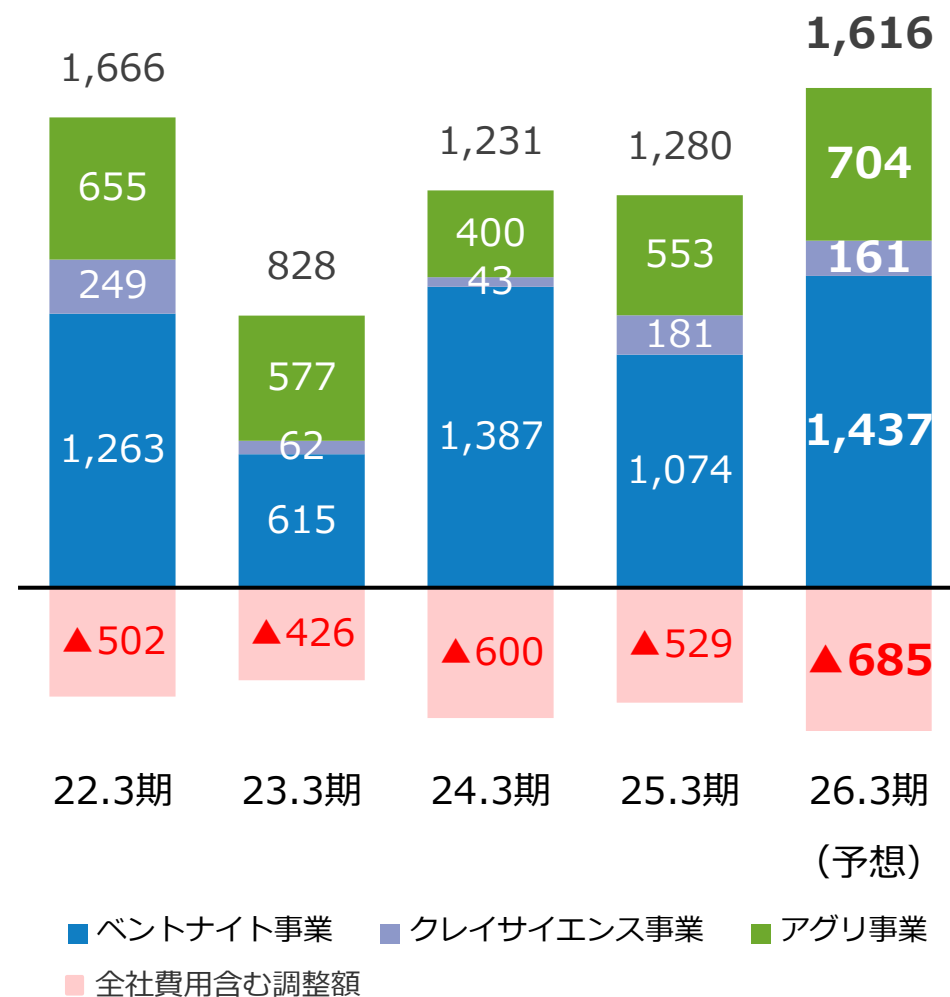
※ 農薬需要の季節変動により下期に収益が偏重

# 補. 事業別業績推移 (通期)

(百万円) 事業別 売上高推移



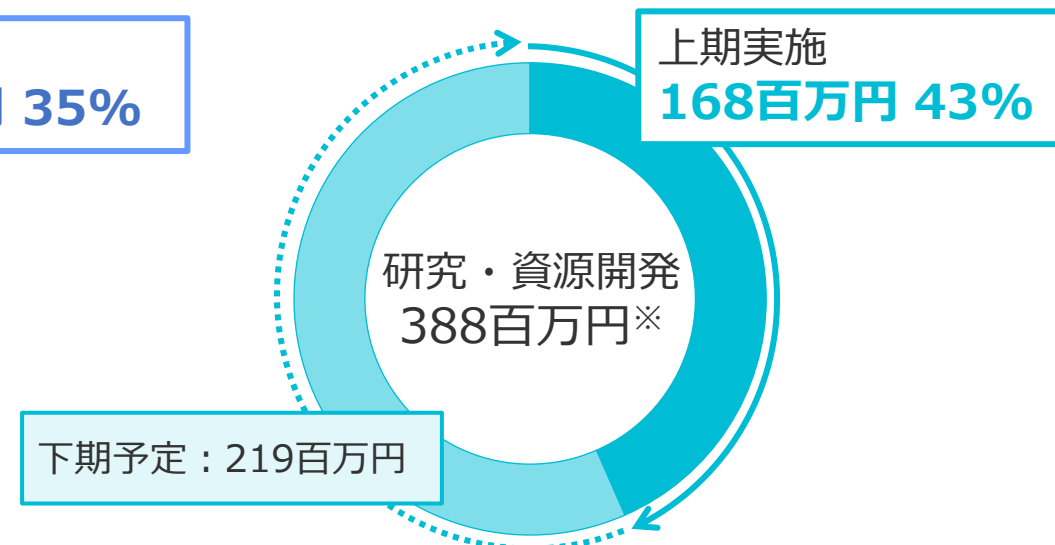
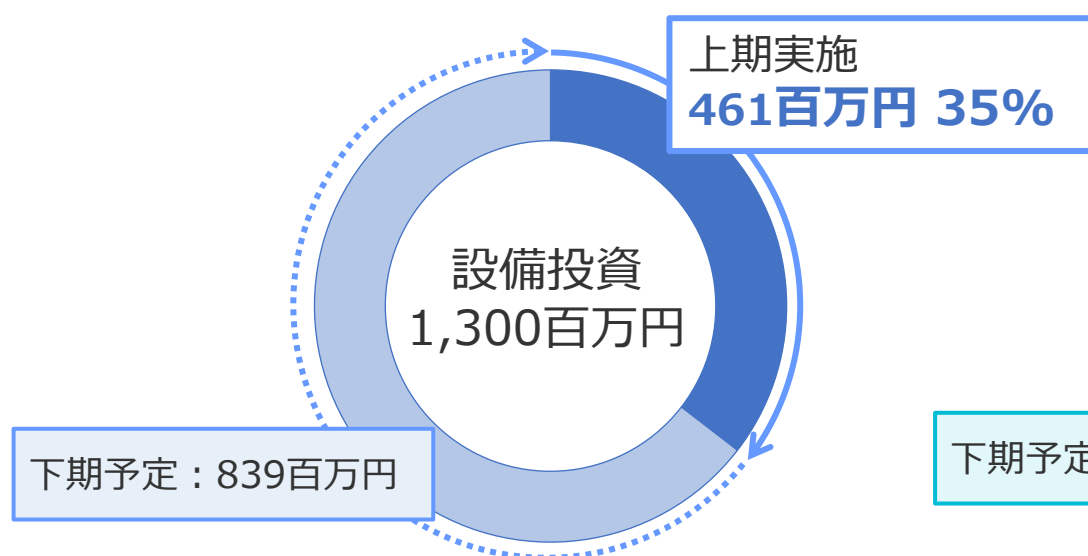
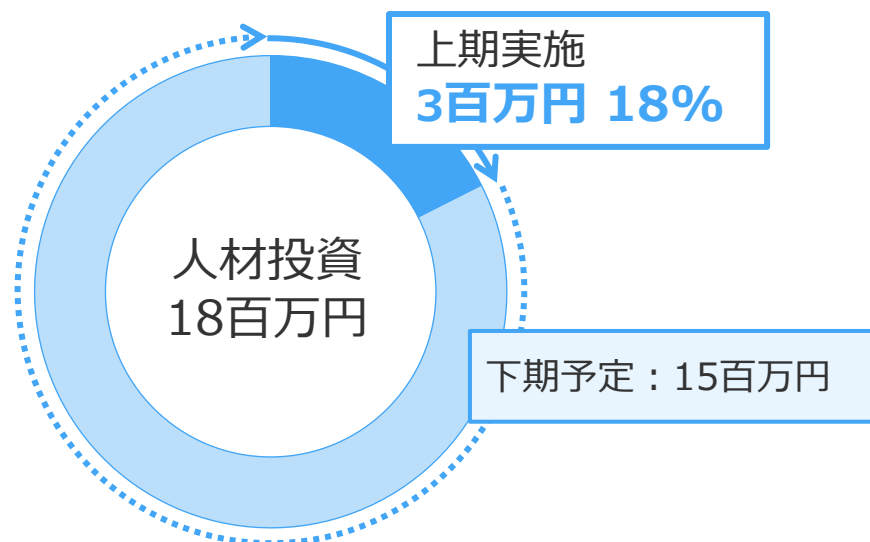
(百万円) 事業別 営業利益推移



# 投資計画の状況

## ■ 実施内容および予定

種類	予算	内容
人材投資	18 百万円	・役職階層別研修 ・OJT研修
設備投資	1,300 百万円	・生産性向上 ・システム刷新
研究・資源 開発	388 百万円	・資源開発探査 ・採鉱技術開発 ・新製品開発



※ 採掘機器の試作機制作費用含む

# 株主還元方針

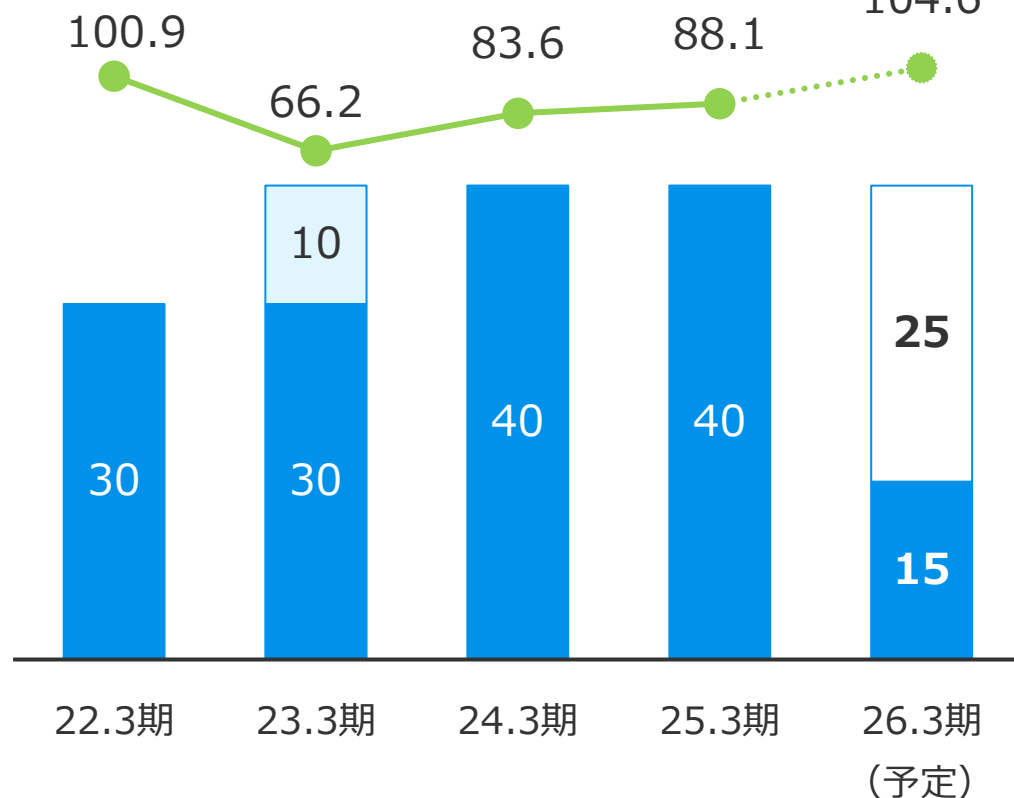
- 当社グループは「株主の皆様に対する安定的な利益還元」を経営最重要課題のひとつとしており、継続的な利益還元に努めてまいります
- 26.3期の配当は、1株当たり15円の間配当を実施し、期末配当は1株当たり25円を予定しております

## 1株当たり当期純利益・配当金推移

(単位：円)

1株当たり純利益

□ 記念配当 ■ 普通配当



## 配当の具体的方針

- ✓ 配当性向30%を目安
- ✓ 1株当たり配当金の下限を40円に設定  
⇒ いずれか大きい方を適用

安定配当を継続し、中長期的には  
利益向上による増配を目指してまいります

4  
/4

## 中期経営計画概要(2024年3月期-2026年3月期)

## 基本方針

資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する

## 基本戦略

### カーボンニュートラル・国土強靱化関連 静脈産業への取組み

- 地熱発電事業／放射性廃棄物処理事業への注力（環境建設分野）
- 森林整備事業（アグリビジネス分野）
- インフラ整備事業（国土強靱化）の取込み（環境建設分野）

### 新規事業領域拡大

- 種子コーティング技術（アグリビジネス分野）
- ガスバリア材料（クレイサイエンス分野）
- 3D細胞培養（クレイサイエンス分野）
- 化粧品UVケア（クレイサイエンス分野）

### 海外市場展開・海外鉱探査

- 素形材分野、クレイサイエンス分野のアセアン市場展開
- 高品質原鉱の安定調達に向けた海外鉱利用

### 企業体質強化

- 人的投資強化(教育＋待遇面)
- ESG経営及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 新鉱区開発、新採掘法開発

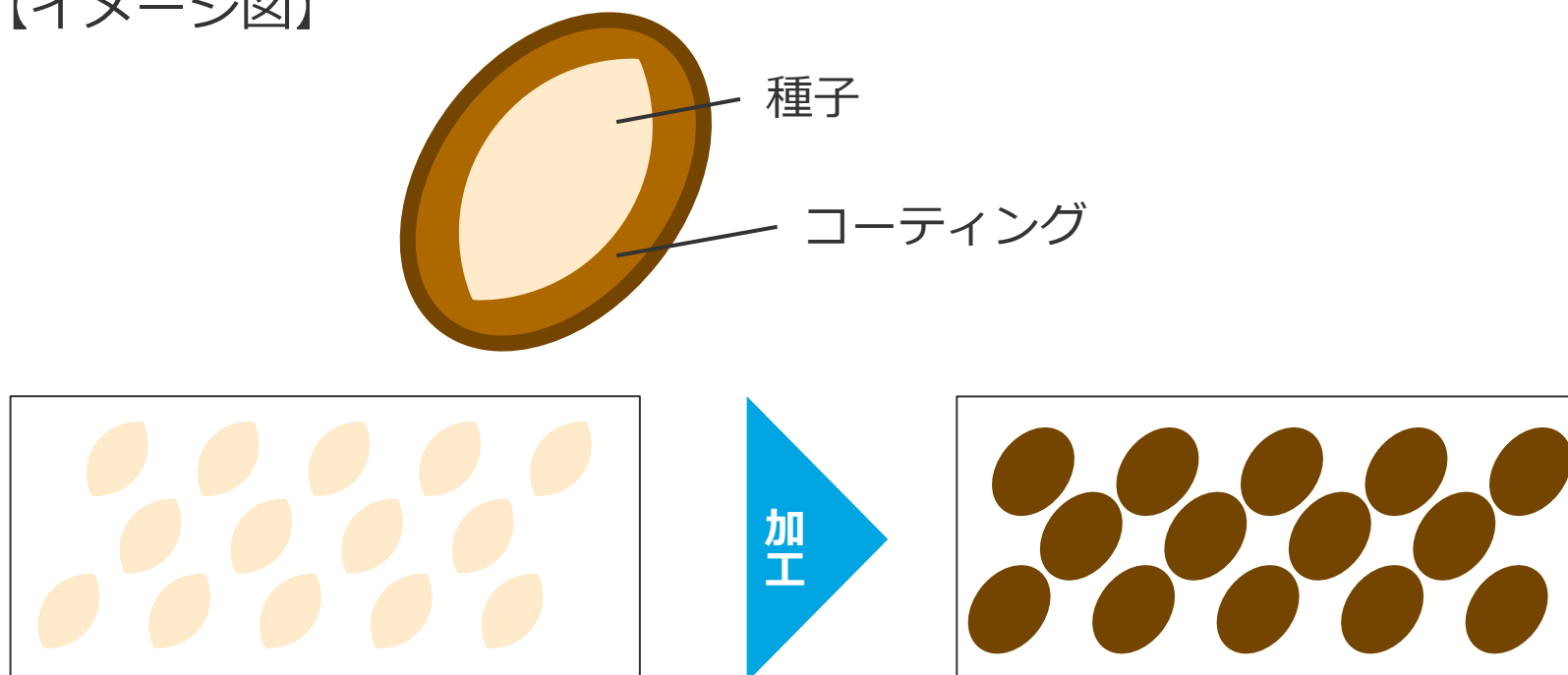
## ● 種子コーティングとは

種子の表面にさまざまな物質をコーティング（被覆）する農業技術であり、発芽や初期生育を助ける目的で行われる。

特に、当社が加工技術を提供している水稻では、種子コーティングの活用により直播栽培※の普及が促進され、農業生産の省力化・コストダウンにつながることが期待されている。

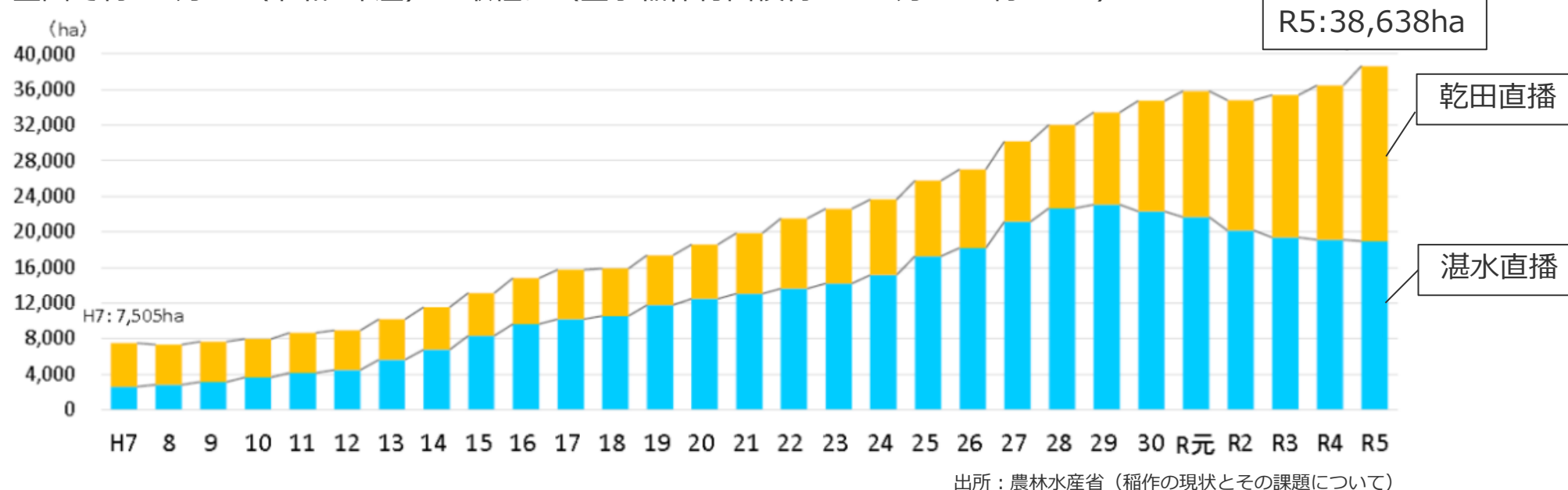
※直播栽培…苗を育てず種を田んぼや畑に直接撒く栽培方法

### 【イメージ図】



## ● 水稻直播栽培面積の推移

全国で約3.9万ha（令和5年産）の取組。（全水稻作付面積約134.4万haの約2.9%）



## ● 直播栽培について

稲作における通常の移植栽培(育苗→田植え)に比べて労働時間が削減され、生産コストを低減させる効果があるため栽培面積は緩やかに拡大

## ● 従前方式の課題および受託加工の動向

直播栽培では鉄コーティング種子等が使用されてきたが、収穫量が安定しないなどの課題があり、普及率に鈍化が見られるが、当社の受託している製品は従前方式の課題を克服し、2025/3期の受託加工金額は前年比+88%の伸長



## 質疑応答

## 補足資料

## ■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社グループが中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつながる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

### 環境（E）

#### ● 環境へ配慮した取り組みを進めてまいります

- ・ 自社CO2排出量の低減
- ・ 循環型社会の実現を目的とした静脈産業への貢献
- ・ 持続可能な社会に向けた製品の一層の研究・開発の促進



### 社会（S）

#### ● 人材投資の強化、労働環境を整備し、地域社会に貢献してまいります

- ・ AI教育やRPA研修の推進など人材投資の強化
- ・ 女性活躍推進法の推進
- ・ 育児・介護休暇、年次有給休暇等の取得推進
- ・ 高齢者雇用安定法に適切に対応し、長く働ける環境の整備
- ・ 各拠点の経済活性化のため、地元の自治体や企業との協力



### ガバナンス（G）

#### ● リスクマネジメントを強化し、持続可能な経営を目指します

- ・ 取締役会の監査・監督機能の一層の強化のため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行
- ・ 取締役会の機能の一層の向上を図るため、取締役会の実効性評価を開始
- ・ 内部通報制度の実効性向上のため、独立した社外の内部通報窓口を設置
- ・ 取締役会の透明性を更に向上させるため、独立役員を1名増員して4名体制に(4名/11名)



# サステナビリティ関連事業機会目標値

- 当社グループでは、サステナビリティに関連する事業機会として『重金属、放射性廃棄物処分事業』『地熱発電事業』『農林水産振興事業』を重要事業機会と捉えて営業活動の強化、CO2排出量の削減、関連する研究開発投資、設備増強投資に注力して参ります
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております

	関連売上高	関連設備投資	CO2削減量
2024年 3月期 実績	371百万円	127百万円	▲4,081t
	+	+	+
2025年 3月期 実績	357百万円	16百万円	▲3,072t
	↓	↓	↓
2026年 3月期までの 目標 (3年累計値)	2,320百万円	300百万円	▲3,000t

# 人材の多様性確保・育成に関する目標値

- 当社グループは、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障害の有無・性自認および性的指向等に関わらず、社員一人ひとりが、感受性や価値観等の違いを尊重し、企業価値向上および社会貢献を目指す社内制度構築および環境整備を推進し、多様性を新たな発想、視点へとつなげ、組織横断的に連携し、イノベーションに向けて突き進んでいく集団を作り上げることを目指します
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております

	24.3期実績		25.3期実績		26.3期目標
キャリア支援制度利用数	33件	→	52件	→	45件
e-ラーニング利用数※1	55.0回	→	46.0回	→	80.0回
エンゲージメントサーベイスコア※2	61点	→	64点	→	68点
女性管理職数	1人	→	2人	→	4人
平均勤続年数※3	11.9年	→	12.0年	→	13.0年
重大労働災害発生件数※4	0件	→	1件	→	0件

※1：株式会社Bizアップ総研が提供するオンライン研修サービス「e-jinzai」への月毎のアクセス数の平均。同一講座の重複受講及び全体教育は除外。

※2：調査には(株)アトラエが提供する「wevox」を利用、「自己成長への支援」を集計

※3：役員・短期臨時員・パートタイマーを除く

※4：重大労働災害：死亡、負傷又は疾病により、障害等級第1～7級に該当した労働災害

# カーボンニュートラルに向けた取組み

## ● カーボンニュートラルに向けた中長期的対応

- 中期的な対応（～2030年）はCO2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃焼設備・各種省エネ機器等のあらゆるエコ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応（～2050年）では、Scope1のCO2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく

Scope2 排出量目標：ゼロ  
(全体排出量は、20.3期比較で 40%削減)

Scope1 排出量目標：ゼロ

中期的対応（～2030）

長期的対応（～2050）

- 高効率燃料への切替え
- 環境低負荷製品へのシフト
- CO2フリー電力切替/太陽光パネル導入
- エコ設備（EV・LED照明等）の導入

- 原鉱採掘・細粒化技術の高度化
- 技術革新燃料(水素/人工メタン) への切替え  
：カーボンフリー燃料

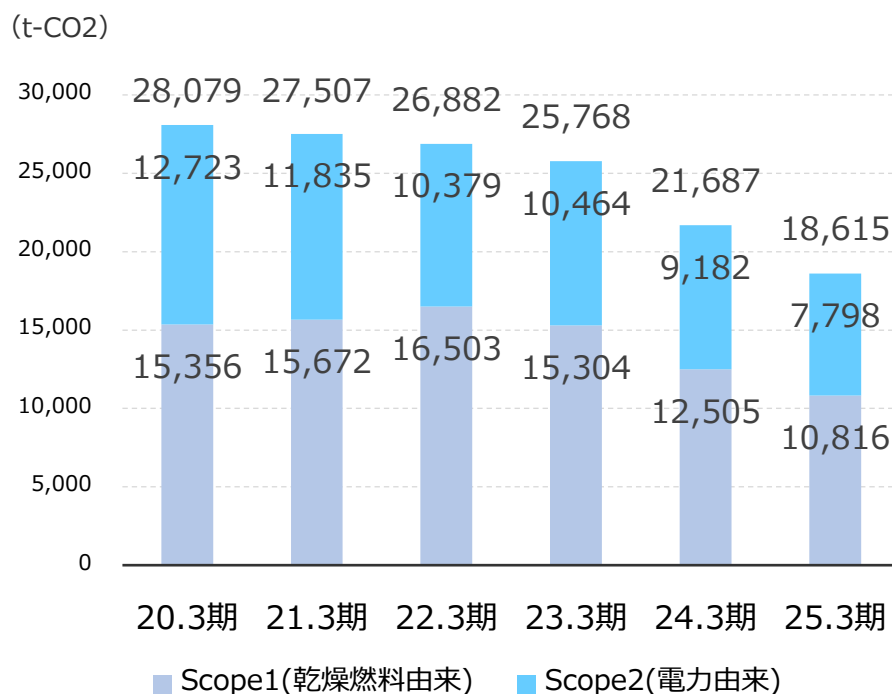
● Scope1  
● Scope2

領域	24.3期までの取組み内容
Scope1	● 高効率燃料への切替（いわき工場：灯油→LNG）
Scope2	● 車両（社用車/フォークリフト）のEV・HV化
	● 工場照明（水銀灯）、事業所居室照明LED化
	● 太陽光パネルの設置（工場屋根等）、CO2フリー電力切替

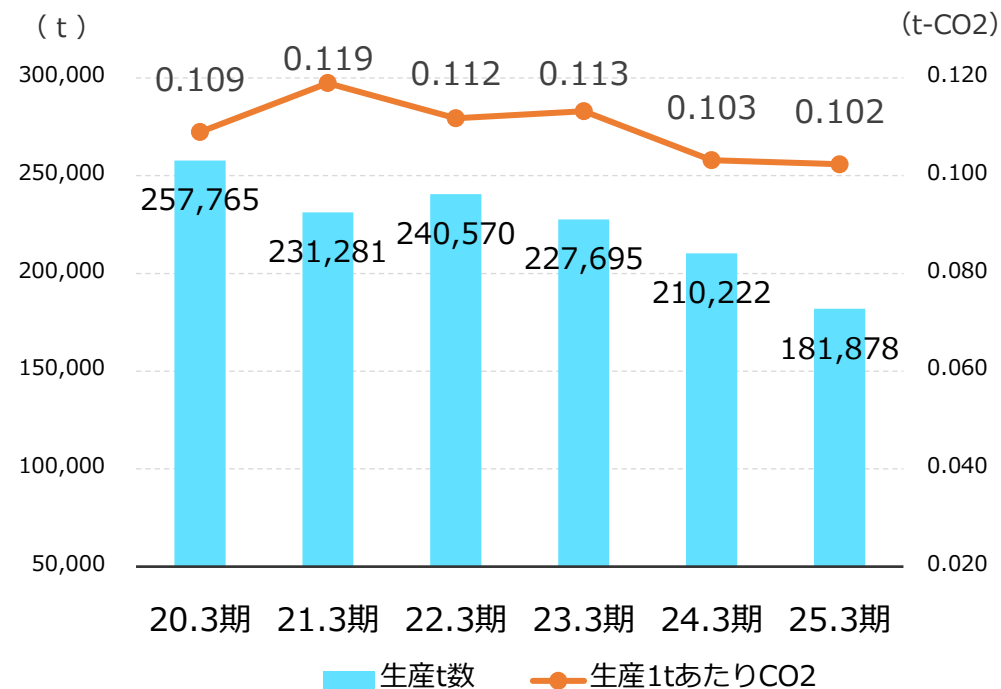
# 当社グループCO2排出量の状況

- 25.3期の当社グループCO2排出量は、前期比▲3,072t-CO2となり大幅に削減  
製品あたりの排出量も継続して減少
- 今後もカーボンニュートラルの達成に向け、CO2排出量削減を進めていく

当社グループCO2排出量推移 (Scope1.2)



製品生産量・生産単位あたりCO2排出量 推移



\* Scope 1 : 製造等での燃料使用によるCO2直接排出  
 \* Scope 2 : 購入した電気の使用によるCO2間接排出  
 \* 各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

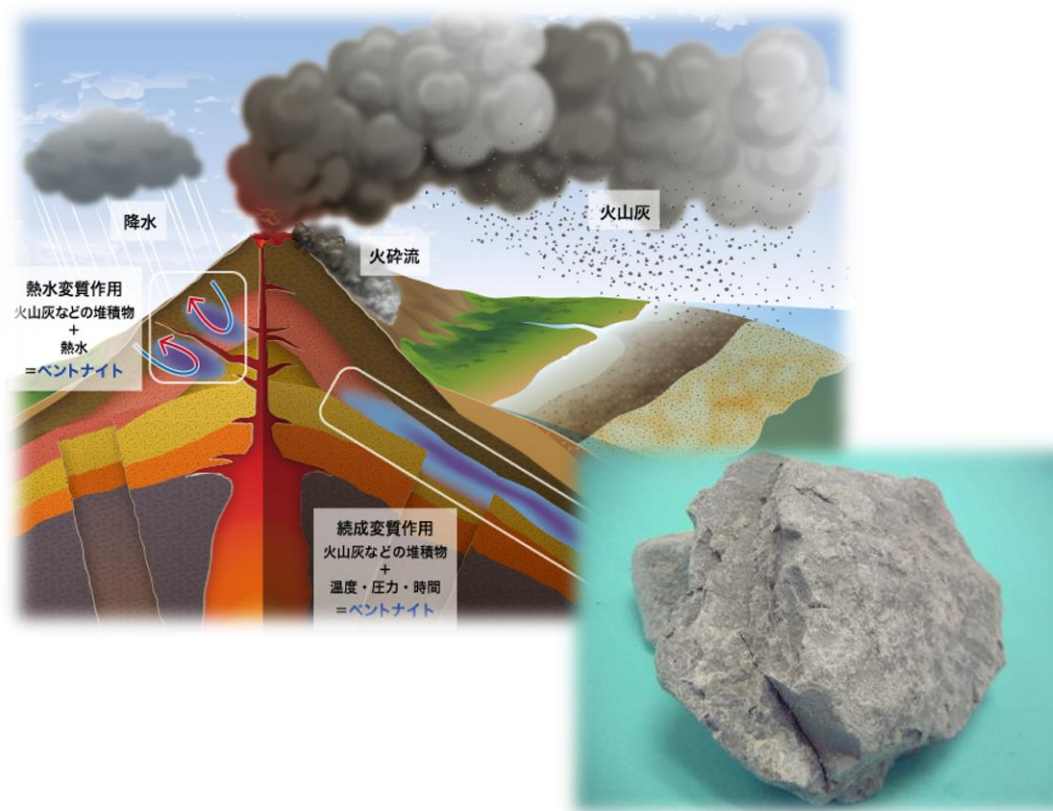


## ●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。

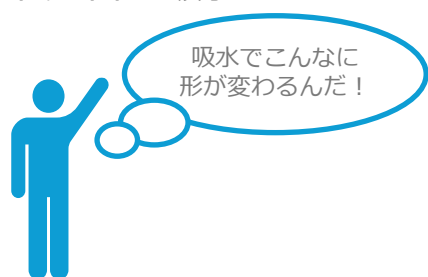
このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは“1,000の用途を持つ粘土”とも称されています。



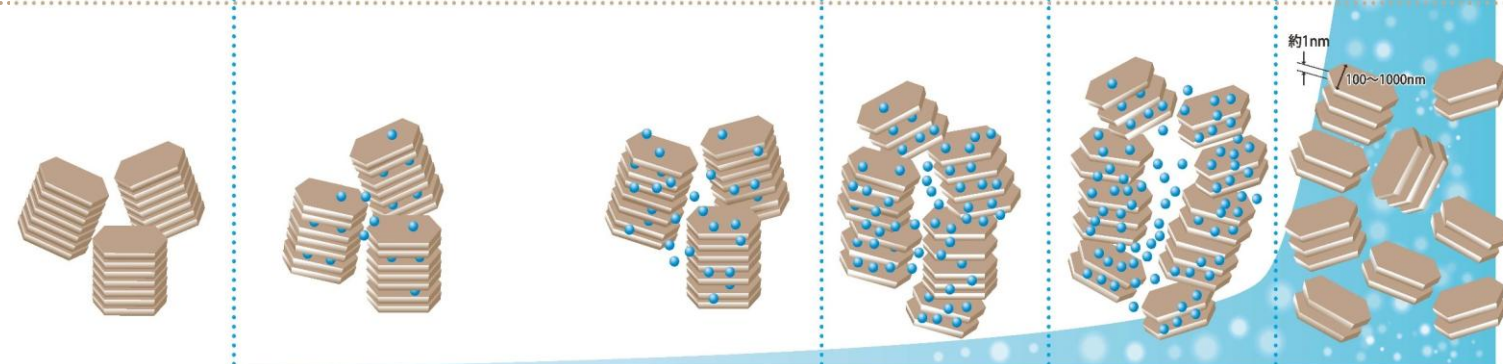
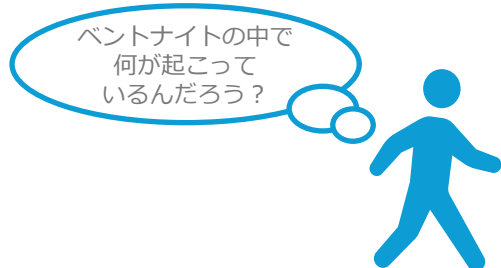


# 参考資料 ベントナイトの用途

## ● ベントナイトの吸水



## ● モンモリロナイトの吸水 (イメージ図)



## ● ベントナイトの使用・活用事例



## 素形材(鋳物)



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材として砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

また、鋳物工場で排出される集塵ダストから重金属の溶出を防ぐ用途にもベントナイトが活用されています。

素形材分野では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて、歩留まりの改善などお客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。



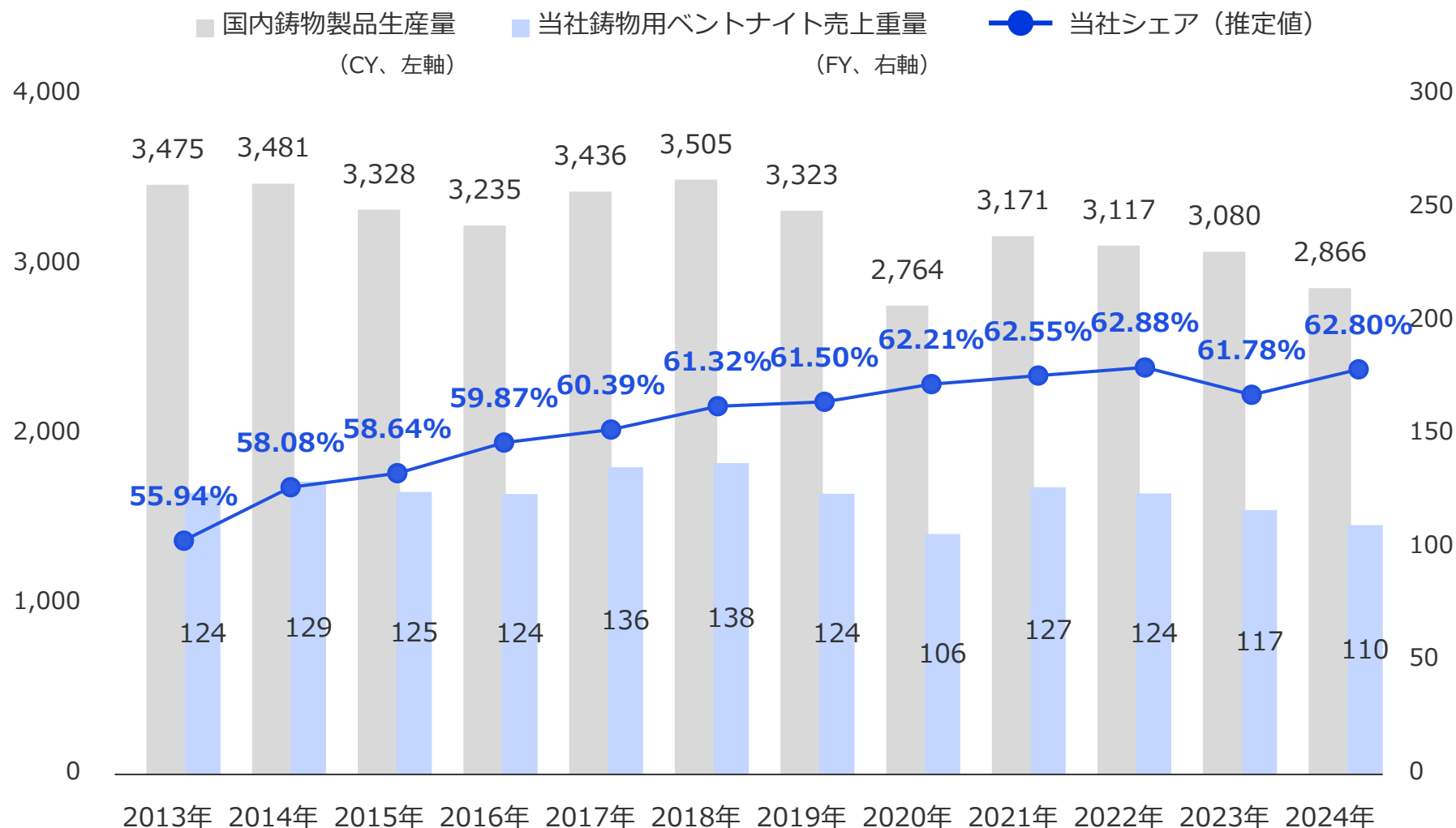
### 主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ
- クニフォース

# 参考資料 素形材分野 国内シェア推移

(単位：千t)

(単位：千t)



出所：一般社団法人日本鋳造協会  
銑鉄鋳物製品別生産量

※鋳物製品生産量より国内ベントナイト使用量を当社基準で推定し、シェアを算出

## 環境建設(土木)

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途など、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業への継続的な取組みに加えて、廃棄物処分関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



「クニシール」

### 主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGS ●クニゲルGT
- クニゲルU ●クニゲルU ●クニキャップTG ●クニシール
- クニシート



## ペット



当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



### 主力商品

- RAGDOLL プレミアムサンド ●天然ジビエペットフード
- 猫砂1番 ●猫砂1番金印 ●猫砂1番大粒

## ファインケミカル

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」、合成技術によってつくり出された粘土「合成スメクトン」、さらに合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した「有機化スメクトン」など高機能製品を販売しております。また、ゴミ焼却場の排ガス処理工程において使用される「環境保全処理剤」も当部にて取り扱っております。

ファインケミカル分野における「クニピア」や「スメクトン」は、高純度と特徴づけられる素材の強みを活かし、セラミックス、塗料、樹脂といった工業製品に機能性材料として利用されています。さらに近年は、イオン交換技術をはじめとする、粘土の機能特性をさらに引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、更なる用途拡大を目指しております。

### 主力商品

- 「クニピア」シリーズ ●「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ ●環境保全処理剤



## ライフサイエンス

当部は24.3期4月の組織変更により、「飼料添加物」や「食品添加物」に加え、「化粧品」用途も加わることとなりました。

「飼料添加物」用途においては、当社ベントナイトがカビ毒吸着能に加え、たんぱく質毒素も吸着する効能を生かし、畜産業界における治療から予防医療へのニーズシフトへ対応するとともに、今後は「動物医薬」用途なども開拓してまいります。

また、当社ベントナイトはクレイの一種として、増粘効果だけでなく吸着剤、乳化安定剤、保湿剤などの成分として多くの化粧品に採用されています。現在、天然由来の化粧品原料が注目を浴びており、精製ベントナイトのクニピアシリーズはCOSMOS APPROVEDを取得いたしました。最近では当社独自の精製技術を用いて、ベントナイトからモンモリロナイトを99%以上抽出した高純度クニピア「クニピア-RF」を上市いたしました。

自然の恵みであるクレイと私たちのテクノロジーを融合し、安心してお使いいただける製品を世界中へお届けしていきます。



### 主力商品

- クニボンドRT
- ダブルボンド ●ダブルフリー ●土壌改良剤
- クニミネ「ペプチオン®」
- 「クニピア」シリーズ

## アグリビジネス

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。



### 主力商品・サービス

- 農薬受託加工
- クレー細粒剤   ● クニゲルV1   ● 天竜
- 「クニピア」シリーズ   ● 「スメクトン」シリーズ



# ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、  
記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>